





共同体のために強めて下さる

羽村美智

聖霊のみたしを受けてから二年近くたった今、私のたどって来た道を考えると、共同体の力を考えずにはいられません。初めて祈りの集いに出た頃は、今迄の伝統的な集いと違うのです。つまり驚き、拒絶反応を起こし、不安や疑いが出て来ました。そんな私を神父様を始め皆様がやさしくはげまして下さり、本を貸して下さい方や相談相手になって下さる方などさまざまの形で答えて下さいました。無事聖霊のみたしを受けることが出来、その時のお恵みの数々はきりがありません。省きませんが、大切なのは出発したそれからの事です。

暫くの間幸福と平安の頂上にいた私は、感情的な喜びがさめて来ると、迷いや誘惑やらがやって来ました。それと同時に恵みも平行してやって来ましたが、成長するためには少しづつ学ばねばならないことが沢山ありました。古い自我を捨てること、霊と魂との区別、聖霊の実について等々、共同体である祈りの集いに出るたびに私は導かれ教えられました。それは無理に強制されるのではなく人々を通しての聖霊の働きかけでした。聖書の朗読や祈り、あかしなどの中に、迷っていた事の解決を見出し、又自分と同じ様を、それ以上の試練にあった方の話を聞いてはげまされたり、自分の希望と神様の思召しとは

違うことを悟ったり、祈りの集いの中だけではなく、もっと広くいろいろな出来事や人々を通じて、神様は私を導き、そして父の愛で満たして下さいました。ことに一番のお恵みは祈りの変化だと思えます。感謝と賛美の祈りが出来るようになり、それが私の内なる神の臨在をますます強く信じさせるのでした。こうして徐々に私は変えられて行きました。がいつも都合よくいっていただけではありません。不完全な人間の集りで、つまづきかけることもありますし、感謝の祈りなどとても出来そうにない状態になることもあります。けれど祈りの集いではお恵みを受けた方と共に喜び、苦しんでいる時には皆で祈ってその効果に驚かされ、いつも何かお恵みを受けた

暗闇からの解放

クララ

み教えの話も浅いうちに病床先礼を受けた私ですが、日本語が不自由な師でしたので、罪がどんなことかも知らず心配に明け暮れてノイローゼ状態になり、心の中に静けさは少しもありませんでした。日曜日のお説教も頭では判りますが、少しもまとまらず聖書を讀んでも一向に感銘など湧きません。文字通り暗闇の中で、み旨とか信頼せよと申されても分からず、そのための読書もむだでした。ところが、シスターからのすすめを受け、一度だけ聖霊による集会を訪れ、その翌日から、何か違う……：霊魂が生きてきて次ぎにお恵みを頂きました。一カ月位過ぎたあ

き喜びながら帰るので。こうして私はたどたどしい歩みながらも、いつの間にか自分なりに他人にのべ伝えを始め、苦しんでいる人困っている人々を慰める機会が出てきました。神様はこんな私も共同体の一員として役立てようとなさり始めたようです。憶する気持ちが少なくなり強められて来たらです。勿論一人では何も出来ませんが「あなた達のうちに働いて望ませ、そして行かせ、御自身のみ旨のままにさせるのは神である」(フィリップ2・13)という言葉を信じて、又すべての事、たとえ悪の中からでも善に変えて下さる神様によりたので、感謝と賛美の中に過ごしていきたいと思っております。

る日、ロザリオの祈りを始めましたら急に吐気を感じ、何か悪いものを食べたかしらと思う間もなく、息だけが出ました。その瞬間、世界が変りました。驚き立ちすくむ私の前に夕暮れ時でしたので、日暮れと闇と明るさの三色が、私の眼前でくっきりと区別され、そして静かに暖やかに明るさだけが近づいて、日暮れと闇は遠くなりました。それから、み教えの理解も自分で納得のできる確信を持てるようになりました。これで良い、これがみ旨なのだ、と安心して信仰の喜びを味わっております。初めてスタート台に立てたような気がしています。盲目のようにした私に、今も神様は次々に聖霊の賜をばっかりお示し下さいます。心から感謝!

各地の祈りの集会

・鎌倉市・

祈りの家庭集会始まる

鎌倉市及び厨子、茅ヶ崎方面の婦人を中心にした祈りの集会在、十一月十七日(水)午後一時から発足することとなった。そして今後は、毎月第二及び第四水曜日午後一時から開くこととし、場所は次の三軒が交代で受持つことになった。片山洋子さん宅(鎌倉市手広一三三―一六〇)、浅沼米子さん宅(三浦

年末のリーダー研修会の参加者へ

第二回の全国リーダー研修会に申込みれた方は、次の事項をお確かめ下さい。

とき・12月26日(日)午後五時半から29日(水)午後一時まで。

26日は午後三時から受付け。夕食六時。七時半から集会。食事予約の都合上遅れる方々不要の方は一週間前に届けること。

連絡先・東京四〇二―五四三七(伊藤) ところ・秦野市上大槻 山王台九九九

上智学院セミナーハウス 電〇四六三(81)九九三三

(道順) 小田急線大秦野駅下車(新宿から急行二時間)し、バスで西大竹下車、約五分(大秦野駅から歩いて15分位)

会費・一万五千元(当日納入)  
持参品・聖書、洗面道具、ねまき

郡葉山町堀内八一〇)、三木信子さん宅(鎌倉市材木座一七一九)。近傍の方、ご参加下さい。連絡先は、浅沼さん電話〇四六八(七五)一六一七  
・国立市・  
愛徳カルメル修道会

聖霊セミナー

同修道院における聖霊セミナーは既に数回を重ねるが、十月七日(木)午前十時から行われたセミナーは五週目のさる四日に十五名が霊のみたしを受けた。この木曜日午前中の集会是、近傍の主婦が主メンバーであり、現在四十名をこえている。岡神父、他修道院シスター方もしばしば参加。同修道院シスター方は霊に燃えておられるよう。

同木曜日夜(午後七時半から)も通勤者、学生等によって集会在続けられている。連絡先〇四二五(七五)二七七八  
・東京(渋谷区)・  
初台カトリック教会

とき・毎週火曜日午前十時から  
初台教会内の祈りの集いは、日曜の夜と木曜の午後一時からに加えて三つの集会在もつようになった。この火曜の集会在は今月九日から始まり、木曜の午后に外出できない主婦が主なメンバーで現在七名。愛の交わり、助け合いの共同体になるように、その為一人一人の心と体のいやしと祝福を祈った。

問合せは三八三―九三六三笠井和子まで。

報告

事務局設立のための献金

初台教会では既報の地下室建設工事が完了し、11月14日に堅信式と宣教25周年記念とを兼ねて祝賀が行われました。これに伴うカリスマセンター事務局設立のための献金は、皆さまの多大のご協力により6日現在十五万円になりましたので、祝賀の前日に主任司祭に御祝としてお渡し致しました。本年一杯この献金を続けます。

事務局はこれから電話、机などを簡単に整え十二月中旬に開設の予定ですが、電話番号などは次号でお知らせします。

一九七七年

キリストによるいやしの聖会開かれる

来年の二月、米国からマクナット神父をリーダーとする神癒チーム一行が来日し、次のような日程で、大集会在を行います。

二月七日(月)午後六時半、八日、九日の両日は午後二時及び午後六時半から、以上五回の集会在は初台教会。二月十日(木)から三日間は、強羅地塩園で二泊三日の聖霊セミナー(キリストによるいやしの奉仕)。

二月十六、十七、十八日の三日間は大阪で集会在の予定。マクナット神父は「ヒーリング」(いやし)の著者で有名な方。

◇編集後記◇「あなた方は、忍耐によって、自分の命を勝ち取ることができます。(ルカ21の13)冒頭の神父様のお話を聞いて祈り続ける忍耐を養いたいと思います。いつも喜んで……」